

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第31巻第3号

発行日●2023年9月11日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第67回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

エシカル消費とマーケティング

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。
第67回は、春のコンファレンスと同様に、現地参加のみにて開催いたします。
※コミュニケーション・メディア「Zoom」等を使ったオンライン発表はございません。

－開催概要－

- 開催日程： 2023年10月21日（土）・22日（日）
開催校： 京都産業大学 神山キャンパス（京都市北区上賀茂）
研究会参加費： 4,000円 [学生会員は2,000円]
懇親会参加費： 5,000円
※研究会・懇親会とも参加申込時にクレジットカード支払い
参加申込方法： 9月12日（火）より JACS Website (<http://www.jacs.gr.jp/>) 受付開始
参加申込締切： 10月13日（金）までに必ずお申込み手続きを行ってください

〔第1日目〕

- 10:00 - 10:10 開会の辞
10:10 - 11:30 JACS-樫尾俊雄
論文プロポーザル賞
11:30 - 13:00 昼食休憩（役員会）
13:00 - 15:10 統一論題 基調講演
15:10 - 15:30 休憩
15:30 - 16:30 パネルディスカッション
16:30 - 16:45 休憩
16:45 - 17:30 会員総会
17:30 - 18:00 選挙
18:30 - 20:30 懇親会・授賞式

〔第2日目〕

- 10:00 - 12:00 自由論題研究報告
・午前の部
12:00 - 13:00 昼食休憩
13:00 - 14:15 自由論題研究報告
・午後の部①
14:15 - 14:30 休憩
14:30 - 15:45 自由論題研究報告
・午後の部②
15:45 - 16:00 閉会の辞

—統一論題—

「エシカル消費とマーケティング」

石淵 順也（関西学院大学）

SDGs、サステナビリティ、グリーン消費、エコなどの言葉に触れる機会が増えていると感じている方は多いのではないのでしょうか。公共交通機関の利用時、メディア視聴時に SDGs のロゴやアイコンを目にする機会や、エコバッグ、エコ活など「エコ」という言葉に接する機会は多いと思います。このような機会の増加の背後には、人々の地球温暖化や人権への関心の高まりがあると考えられます。

エシカル消費も近年触れる機会の多い言葉だと思えます。エシカル消費は倫理的消費と称されることもあります。エシカル消費には様々な定義がありますが、消費者庁の「倫理的消費」調査研究会および消費者基本計画によれば、エシカル消費（倫理的消費）とは「地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動」（「倫理的消費」調査研究会取りまとめ（2017）, p.3）を指します。配慮の対象は、環境だけでなく、人、社会、地域、動物などが含まれます。エシカル消費は、サステナブル消費と同義に使われることもありますが、この定義からより広義な概念であることが分かります。

学術研究においても消費者行動のエシカルな側面への関心は高まっています。*Journal of Consumer Research* の直近 2 年分の号（2021 年 11 月の 48 巻 3 号から 2023 年 8 月の 50 巻 2 号）の掲載論文のキーワードや内容を見ると、Sustainability をキーワードに挙げた「環境への配慮」に関する論文が 3 本、Gender、LGBTQ、Race、Diversity など「人への配慮」に関する論文が 6 本、Poverty、Donation など「社会への配慮」に関する論文が 4 本ありました。2021 年の *Journal of Marketing* の Better Marketing for a Better World の特集号でも触れられていますが、「マーケティングの目的はビジネスの利益や株主価値を高めることである」(Chandy et al., 2021, p.4) という仮定からの脱却は学術研究にお

いても進んでおり、エシカルな側面への関心が高まっていることが分かります。

エシカル消費に焦点を当てる今回の統一論題では、3 名の先生にご登壇を頂く予定です。お一人目は、筑波大学の西尾チヅル先生です。西尾先生はこの分野の先駆者であり、ご高書『エコロジカル・マーケティングの構図—環境共生の戦略と実践』（1999 年、有斐閣）をご出版されております。先のエシカル消費の定義との関わりで言えば、環境に配慮した消費者行動を中心にご研究をされております。お二人目は、東京都立大学の水越康介先生です。水越先生は消費の利他的な側面や意味についてご研究をされており、ご高書『応援消費』（2022 年、岩波書店）をご出版されております。先の定義との関わりで言えば、人や地域に配慮した消費者行動を中心にご研究をされております。お三方目は、実践女子大学の井上綾野先生です。井上先生は農産物の倫理的表示と消費者行動についてご研究をされております。先の定義との関わりで言えば、環境に配慮した消費者行動を中心にご研究をされております。以上の 3 先生にご講演を頂いた後、パネルディスカッションを実施し、会場全体で議論を深めたいと考えております。

2023 年 10 月の第 67 回消費者行動研究コンファレンスは、京都産業大学で対面での開催を予定しております。開催校をお引き受け頂きました京都産業大学の上元亘先生に心より感謝を申し上げます。京都市は、日本経済新聞社の「全国市区 SDGs 先進度調査」において常に上位に入っており、SDGs 先進都市としても知られております。エシカル消費について議論を行うのに理想的な開催場所だと考えております。秋の京都で、有意義で活発な議論ができますよう、山本奈央先生（名古屋市立大学）、磯田友里子先生（高知大学）と共に準備を進めてまいります。ご参加のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

2023 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので、会員の皆様におかれましては是非とも奮ってご応募ください。申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

*2023 年度もコロナの状況に鑑み、海外学会のオンライン参加も認めることとします。この場合、助成は英文校閲費のみの支給となります。

【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要件】

1. 運用について：
 - ・採用は、お1人の先生につき最大2回まで
- 2 義務について：
 - ①助成年度から3年間は、JACSの会員として活動を継続すること
 - ②助成年度から3年以内に、日本消費者行動研究学会のコンファレンスにおいて1回以上研究発表を行うこと

【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mailにてご応募ください。

●E-mail 記載事項：

- ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも1名が会員であれば応募可能です）
- ②申請者および発表者全員の所属先
- ③発表学会名
- ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
- ⑤発表論題

●E-mail 宛先：jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局）

●E-mail 件名：「JACS 国際学会派遣助成申請__申請者氏名」と記してください。

【応募締切】2023 年 9 月 29 日（金）

【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2023 年 10 月末頃に採否について、事務局より連絡いたします。

※採択後の義務・その他、詳細につきましては JACS Website をご覧ください。

https://www.jacs.gr.jp/award/#research_grant

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局までE-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ずJACS事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記JACS事務局までお願い致します。

JACS Website(<https://www.jacs.gr.jp/>)からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご利用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は
学会 Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/>)
入会案内から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。
但し、学術会員1名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

●年会費

※令和3年度（2021年度）より

[学術会員] 12,000円

（但し、大学院生は5,000円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1口 5,000円

法人会員 1口 50,000円

★法人会員には会員特典がございます。

詳しくは学会 Website

「賛助会員：会員特典」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局）明治学院大学経済学部 大竹光寿研究室
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
E-mail: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012
E-mail: jacs@asas-mail.jp



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>